

第20回「対論：坂本功 vs 渡辺一正 伝統木造構法を考える」 現代の構造解析技術で 伝統木造建築技術を 何処まで理解出来たのか？

三内丸山遺跡まで行かずにも、卑近な掘立て柱による住宅を見れば古代建築の凄さは感じられよう。地震にも風にも良く耐える。積雪にすら十分耐え、意外に快適で、しかも、耐久性も存外高い。

伝統建築技術は、この古代建築をモデルとして工夫を加えたものでその信頼性は高く、江戸末期以前は、伝統建築技術は最先端技術でもあった。

しかし、江戸末期以降、次元の異なる海外技術が導入され、伝統建築技術は、それら移入技術とは別の世界に閉じ籠められた。

伝統木造建築技術は国内的にはこのように二軍に退かされたが、ブルーノ・タウトばかりでなく、ル・コルビュジエ、ヴァルター・グロピウス、フランク・ロイド・ライト、ミース・ファン・デル・ローエなどの世界の巨匠は、桂離宮を始めとする日本建築を賞賛し、それらを生み出す伝統建築技術に感動した。彼等が東大寺の鋼材による耐震補強を悲しんだのは、地震の怖さを知らないからだろうか？

耐震設計の大先輩、梅村魁先生は、木造建築研究フォーラム発足式の講演で、「軋みこそが、木造の強み」と言った。この軋みは果してモデル化出来たのだろうか？



【日 時】平成27年2月28日(土) 13:30~16:30 (開場 13:00)

【会 場】東京文化財研究所・セミナー室 (東京都台東区上野公園 13-43)

【講 師】**坂本 功 氏** 東京大学名誉教授・NPO木の建築フォーラム理事長

渡辺一正 氏 元建設省建築研究所研究部長・NPO市民文化財ネットワーク鳥取理事長

【定 員】100名 (申込順、定員になり次第締切)

【参加費】2,000円

【申込・問合せ】これ木連事務局

(風基建設株式会社社内 担当：渡辺)

TEL：03-3356-4841 FAX：03-3356-4843

Eメール：koremokuren@e-mail.jp

【締 切】2月25日(水)

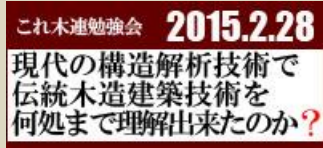
参加者1名ごとに、氏名、所属、電話、ファクス、メールアドレスを明記のこと。

【主 催】これからの木造住宅を考える連絡会

財団法人住宅産業研修財団 優良工務店の会
職人がつくる木の家ネット
NPO伝統木構造の会
一般社団法人 日本曳家協会
NPO日本民家再生協会
NPO緑の列島ネットワーク



【交通】JR 鶯谷駅 南口より徒歩 10分
JR 上野駅公園口より徒歩 15分



.....申し込み.....

(メール申し込みの場合は下記内容を koremokuren@e-mail.jp まで)

◆連続講座「伝統構法を考える勉強会」

第20回 「対論：坂本功 vs 渡辺一正 伝統木造構法を考える」

現代の構造解析技術で伝統木造建築技術を何処まで理解出来たのか？

に参加します。

①	氏名：		会社：		所属する 団体等：	
	連絡先 TEL：		連絡先 FAX：		連絡先 Eメール：	
②	氏名：		会社：		所属する 団体等：	
	連絡先 TEL：		連絡先 FAX：		連絡先 Eメール：	

FAX 03-3356-4843